

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 5	
事業種別	治山事業	事業主体	青森県	
事業名	予防治山事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	大川目 (風間浦村)	事業方法	国庫補助 県単独	
事業の背景・必要性	本地区は、平成13年9月の豪雨により溪岸崩壊が随所に発生し、溪床・溪岸浸食が著しくそのまま放置しておくと、時期豪雨により下流域の公共施設や人家及び村道等に土砂流出の危険性があったことから、不安定土砂の固定及び溪床勾配の緩和を行い、被害を未然に防止するものである。			
主な事業内容 (事業量)	谷止工 1個 床固工 5個 流路工 131.4m			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 山地保全効果 ・土砂流出による被害から公共施設等を保全する効果 (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) 平成14年度 (用地着手)		(工事着手) 平成14年度 (事業完了) 平成18年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H14 ~ H17	~	H14 ~ H18	
総事業費	73 百万円	百万円	113 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	[当初計画と実績が異なる理由] 当初計画では谷止工2個、床固工1個、流路工112.7mを計画していたものが、現地調査を実施した結果、床固工の追加になる等、溪間工の設計内容に変更が生じたことから、事業費が増となった。			
(事業概要図)				
担当部課室名	農林水産部林政課	電話番号	017 - 734 - 9524	
		E - MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp	

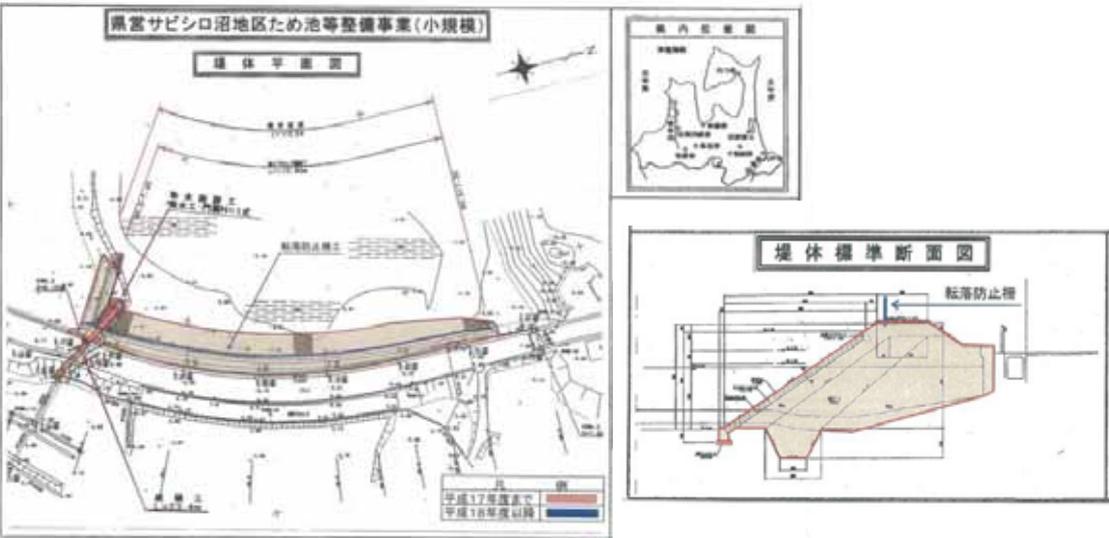
公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 13																
事業種別	森林整備事業	事業主体	青森県																
事業名	森林環境保全整備事業	管理主体	弘前市																
箇所名等 (市町村名)	藍内沢田 (弘前市)	事業方法	国庫補助 県単独																
		財源・負担区分	国 50% 県 50% 市町村 % その他 %																
事業の背景・必要性	本地区は、利用区域300haのうち74%がスギの造林地であり、極めて高い人工林率を占めている地域であるが、付近一帯には、基幹となる林道がないため、除間伐といった保育作業に支障をきたしていた。そのため本林道の開設により、相馬地域の民有林及び国有林の森林・林業の振興と併せ、生活環境の整備を図るものである。																		
主な事業内容 (事業量)	林道開設 4,423m																		
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) (1) 木材生産確保・増進効果 ・林道の整備によって、木材の生産経費縮減・利用が増進される効果 (2) 作業道作設経費縮減効果 ・林道の整備によって、作業道を作設する経費が縮減される効果 (3) 森林整備促進効果 ・森林整備の促進に伴う、水源かん養(洪水防止・水質浄化等)の効果 (その他の効果) -																		
事業の実施経過	(事業着手) 平成8年度	(用地着手)	(工事着手) 平成8年度	(事業完了) 平成18年度															
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) (当初計画時)	再評価時(H13年)	事後評価時(年) (最終実績)																
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ~ H16	H8 ~ H16	H8 ~ H18																
総事業費	1,400 百万円	880 百万円	972 百万円																
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H9年)	第2回計画変更(H10年)	第3回計画変更(H15年)	第4回計画変更(年)															
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ~ H16	H8 ~ H16	H8 ~ H18	~															
総事業費	1,246 百万円	880 百万円	972 百万円	百万円															
特記事項	[再評価理由、再評価結果] 長期継続のため、H13年に再評価を実施。付帯意見は無く、評価結果は継続の方針となった。																		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>(事業概要図)</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p>土工標準図</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>表層</td> <td>密着度モックアップコンクリート</td> <td>1:0.04</td> </tr> <tr> <td>上層路床</td> <td>クラッシュセラーン</td> <td>0-20m 1:0.07</td> </tr> <tr> <td>下層路床</td> <td>再砕石</td> <td>RC-40 1:0.11</td> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>再砕石</td> <td>RC-40 1:0.50</td> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>再砕石</td> <td>RC-40 1:0.72</td> </tr> </table> </div> </div>					表層	密着度モックアップコンクリート	1:0.04	上層路床	クラッシュセラーン	0-20m 1:0.07	下層路床	再砕石	RC-40 1:0.11	表層	再砕石	RC-40 1:0.50	表層	再砕石	RC-40 1:0.72
表層	密着度モックアップコンクリート	1:0.04																	
上層路床	クラッシュセラーン	0-20m 1:0.07																	
下層路床	再砕石	RC-40 1:0.11																	
表層	再砕石	RC-40 1:0.50																	
表層	再砕石	RC-40 1:0.72																	
担当部課室名	農林水産部林政課	電話番号	017 - 734 - 9524																
		E-MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp																

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 24	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	広域営農団地農道整備事業	管理主体	十和田市、六戸町	
箇所名等 (市町村名)	十和田南部 (十和田市、六戸町)	事業方法	国庫補助 県単独	
事業の背景・必要性	本地区は、青森県南東部に位置する広域営農団地であり、地区からの農産物は、八戸中央卸売市場や東北自動車道を利用した中央市場への出荷を目指しているが、市街地を通過する国道は混雑が激しく、円滑な農産物の輸送に支障を来しているため、営農団地を連絡する本農道を整備することにより、営農・流通の一体化と農業経営の合理化を図るものである。			
主な事業内容 (事業量)	全体延長 30,376.1m 道路工 29,433.0m 橋梁工 943.1m(N=11か所)			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) (1)品質向上効果 ・荷傷みを防止することで農産物の質的向上が図られる効果 (2)維持管理費節減効果 ・農道の維持管理費が節減される効果 (3)走行経費節減効果 ・農産物の生産及び流通に係る走行経費が節減される効果 (4)一般交通等経費節減効果 ・農業以外の一般車両の通行に要する経費が節減される効果 (5)更新効果 ・従前の道路の機能が継続して発現する効果 (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) S59年度	(用地着手) S60年度	(工事着手) S61年度	(事業完了) H18年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(H11年)	再評価時(H16年)	事後評価時(年) [最終実績]
事業期間(事業着手～事業完了)	S59 ~ H9	S59 ~ H15	S59 ~ H17	S59 ~ H18
総事業費	7,420 百万円	15,000 百万円	16,145 百万円	16,146 百万円
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H9年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	S59 ~ H16	~	~	~
総事業費	15,000 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	[再評価理由、再評価結果] 採択後長期継続によりH11とH16に再評価を実施し、いずれも附帯意見は無く、評価結果は「継続」。 [計画変更内容] 縦断勾配見直しによる延長の増(約2km増)等により、H9に計画変更を実施。			
(事業概要図)				
<div style="text-align: center;"> <h3>十和田南部地区広域農道整備事業概要図</h3> </div>				
担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9555	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 36						
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県						
事業名	ため池等整備事業	管理主体	西津軽土地改良区						
箇所名等 (市町村名)	サビシロ沼 (つがる市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 県単独						
		財源・負担区分	●国50.0% ●県36.9% ●市町村13.1% ○その他 %						
事業の背景・必要性	本地区は、老朽化により漏水が著しく、また余裕高不足や洪水吐の流下能力不足などから決壊が懸念され、ため池の決壊時には、農地・農業用施設をはじめ、人家や公共施設にも湛水被害を及ぼす恐れがあることから、本事業で改修整備を行い、被害を未然に防止するものである。								
主な事業内容 (事業量)	堤体工 115.5m 取水施設工（洪水吐工兼用）1箇所 底樋工 23.4m								
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 (1)防災効果 ・ため池決壊による耕土流出、土砂埋没被害等を防止する効果 ・家屋被害及び公共施設（県道流出）の被害を防止する効果 (2)維持管理費節減効果 ・ため池の改修により、維持管理費が節減される効果 《その他の効果》 -								
事業の実施経過	《事業着手》	H12	《用地着手》	H13	《工事着手》	H13	《事業完了》	H18	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕		再評価時(H17年)		事後評価時(年) 〔最終実績〕				
事業期間(事業着手～事業完了)	H12	～	H17	H12	～	H18	H12	～	H18
総事業費	160	百万円	159	百万円	159	百万円			
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)		第 回計画変更(年)		第 回計画変更(年)		第 回計画変更(年)		
事業期間(事業着手～事業完了)	～		～		～		～		
総事業費		百万円		百万円		百万円		百万円	
特記事項	【再評価理由、再評価結果】 採択後長期継続によりH17に再評価を実施し、附帯意見はなく、評価結果は「継続」。								
《事業概要図》									
担当部課室名	農林水産部 農村整備課			電話番号	017 - 734 - 9556				
				E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp				

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 41	
事業種別	地域水産物供給基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	川内地区 (むつ市(旧川内町))	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国50% 県40% 市町村10% その他 %	
事業の背景・必要性	本地区は、港内の静穏度が不十分であるため安全な係船に支障を来しているほか、用地不足によりホタテ養殖作業が効率よく行えない状況にあることから、本事業では安全で円滑な漁業活動が可能となるよう外郭施設や用地を整備する。また、近年需要の高いマナモコの生産力の向上のための増殖場を造成し、資源管理型漁業の支援を行うものである。			
主な事業内容 (事業量)	【桧川漁港の整備】 防波堤等 110m、岸壁・物揚場等 143m、用地護岸 126m、漁港施設用地 8,410m ² 【漁場の整備】 増殖場 11.1ha			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) (1) 水産物生産コストの削減効果 ・防波堤等の整備による港内静穏度の向上に伴う出漁回数の増加効果及び漁船の修繕費削減効果、船揚作業に要する時間と人員の削減効果、見回り回数の減少に伴う人件費の削減効果 ・用地・岸壁整備に伴う漁業作業時間の削減効果 ・係留・機能施設の整備に伴う作業効率の向上 (2) 漁獲可能資源維持・培養効果 ・マナモコの資源増大による生産量増加効果 (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) 平成13年度 (用地着手)		(工事着手) 平成13年度 (事業完了) 平成18年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) (当初計画時)	再評価時(H17年)	事後評価時(年) (最終実績)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H18	H13 ~ H20	H13 ~ H18	
総事業費	1,186 百万円	976 百万円	667 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H15年)	第2回計画変更(H17年)	第3回計画変更(H19年)	第4回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H20	H13 ~ H20	H13 ~ H19	~
総事業費	876 百万円	976 百万円	656 百万円	百万円
特記事項	【再評価理由、再評価結果】 採択後長期継続(5年)により平成17年度に再評価を実施しており、県の対応方針どおり「継続」とされている。(附帯意見無し) 【第1回計画変更内容】 港内静穏度シミュレーション結果に基づく外郭施設の配置見直しにより事業費が減となった。 【第2回計画変更内容】 マナモコの資源増大を図るため、新たな増殖場を造成したことにより事業費が増となった。 【第3回計画変更内容】 漁業活動の効率化に向けた漁業者による取組により、一部の施設整備が不要となったことにより事業費が減となった。			
(事業概要図) 位置図				
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課		電話番号	017 - 734 - 9614
			E-MAIL	gyokou@pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 43	
事業種別	広域水産物供給基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	広域漁港整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	鯨ヶ沢地区 (鯨ヶ沢町)	事業方法	国庫補助 県単独	
事業の背景・必要性	本地区は、岸壁、用地等の不足により水揚げまでに待機時間を長く要し、漁獲物の鮮度の低下を招いているほか、冬期に港内で発生する風波により、漁船の係留や操船に支障を来していることから、本事業では安全で円滑な漁業活動が可能となるよう外郭施設や岸壁、用地等の整備を行うものである。			
主な事業内容 (事業量)	【鯨ヶ沢漁港の整備】 防波堤等 268m、泊地 28,400m ² 、岸壁 120m、漁港施設用地 14,800m ²			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) (1) 水産物生産コストの削減効果 ・出港準備、陸揚げ時の待機時間の削減効果 ・車両の進入可能による漁獲物の積み作業の削除効果 ・背後用地拡充による網外し等作業時間の短縮 ・水深不足による出入港の潮待ち時間の解消 (2) 漁獲物付加価値の効果 ・陸揚げ作業時間短縮による出荷額の増加 (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) 平成14年度	(用地着手)	(工事着手) 平成14年度	(事業完了) 平成18年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) [当初計画時]	再評価時(年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H14 ~ H19	~	H14 ~ H18	
総事業費	1,300 百万円	百万円	620 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H15年)	第2回計画変更(H16年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H14 ~ H19	H14 ~ H18	~	~
総事業費	1,300 百万円	740 百万円	百万円	百万円
特記事項	【第1回計画変更内容】 現地測量の結果、泊地、用地、護岸の整備数量が変更になった。(事業費、期間ともに変更無し) 【第2回計画変更内容】 漁獲物の衛生管理に資するための用地舗装を追加した。また、大型漁船の減少により泊地水深の確保が不要となり、大幅に浚渫費用が減となった。			
(事業概要図)				
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614	
		E - MAIL	gyokou @pref.aomori.lg.jp	

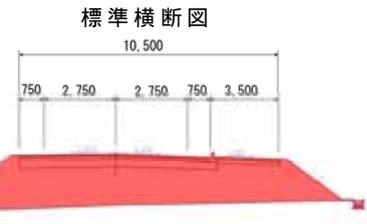
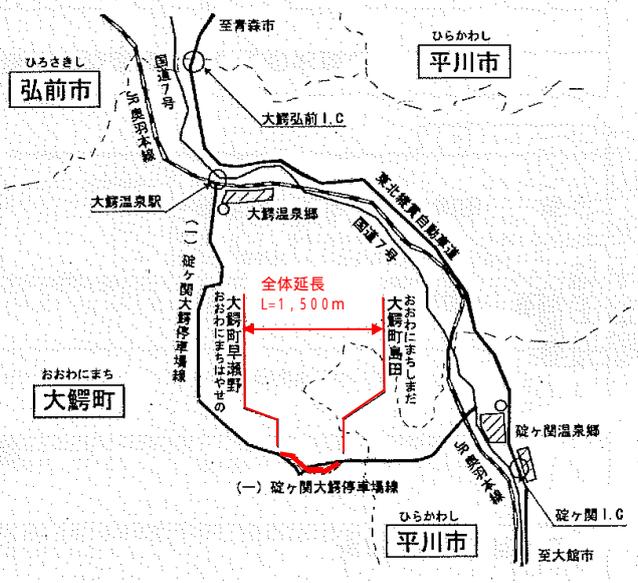
公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 45	
事業種別	漁港環境整備事業	事業主体	青森県	
事業名	漁港環境整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	大畑漁港 (むつ市(旧大畑町))	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国50% 県40% 市町村10% その他 %	
事業の背景・必要性	本地区は、漁業者や地域住民が気軽に安心して自然とふれあうことができるリクリエーション施設がないことから、運動施設や親水施設などを整備することにより、地域の交流を促進し、漁港を核とした地域の活性化及び生活環境の向上を図るものである。			
主な事業内容 (事業量)	植栽 31,460m ² 、休憩所 1式、運動施設 13,000m ² 、親水施設 1式 ほか			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>(1) 余暇機能向上効果 ・新たな余暇の場の創出、イベントの場の確保、漁港利用者の利便性の向上</p> <p>(2) 生活環境向上効果 ・児童等の安全な遊び場の確保</p> <p>(その他の効果)</p> <p>(1) 漁港就労環境向上効果 ・就労環境の改善、漁港内景観の改善</p> <p>(2) 漁業作業効率向上効果 ・漁業者と一般漁港利用者との分離による漁業作業効率の向上</p>			
事業の実施経過	(事業着手) 平成7年度 (用地着手) 平成8年度		(工事着手) 平成7年度 (事業完了) 平成18年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) [当初計画時]	再評価時(H12年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H7 ~ H15	H7 ~ H16	H7 ~ H18	
総事業費	2,800 百万円	1,700 百万円	1,485 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H14年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H7 ~ H17	~	~	~
総事業費	1,700 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>[第1回計画変更内容]</p> <p>町内で実施されている自然との共生・調和・手作りを目指した取り組み状況を考慮し、人工的な施設による環境整備から、自然石による築磯の整備や植栽・芝生面積の拡大など、より自然に近い環境を創出するための整備に変更する。</p> <p>[H12再評価時の附帯意見]</p> <p>漁業者の生産活動の支援と地域住民のリクリエーションを支援するということで、地域に密着した事業であるため、継続とし、地域の振興を含めた活性化に努め、発展されるような有効活用の施設整備を検討する必要がある。</p>			
(事業概要図)	<p>位置図</p> <p>平面図</p> <p>(潜堤)</p> <p>親水施設 1式</p> <p>(養浜)</p> <p>(緩傾斜護岸)</p> <p>(水飲場)</p> <p>(四阿)</p> <p>(多目的広場)</p> <p>(樹木)</p> <p>(樹木)</p> <p>運動施設 13,000m²</p> <p>休憩所 1式</p> <p>植栽31,460m²</p> <p>(駐車場)</p> <p>(芝生)</p>			
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614	
		E-MAIL	gyokou@pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 50	
事業種別	道路事業	事業主体	青森県	
事業名	緊急道路建設事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	鳥屋部十日市線 鳥屋部 階上町	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国 55% 県 45% 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	一般県道鳥屋部十日市線は、階上町を起点とし南部地方生活圏の中心都市である八戸市へ至る道路であり、沿線集落と八戸市街地を結ぶ地域の生活道路である他、石灰鉱山や観光地である階上岳も隣接していることから、経済・産業上重要な役割を担っている。 当該区間は、幅員が狭小であり、通学路であるが歩道も未整備であり交通安全上危険な区間であることから、現道拡幅整備を行い、円滑な交通と歩行者の安全確保を図るものである。			
主な事業内容 (事業量)	全体延長 L=2,000m 幅員 W=6.0(12.5)m			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 拡幅整備による交通の円滑化 (その他の効果) 歩行者の安全確保			
事業の実施経過	(事業着手) H9	(用地着手) H9	(工事着手) H10	(事業完了) H18
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(18年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H9 ~ H20	H9 ~ H20	H9 ~ H18	
総事業費	831 百万円	831 百万円	745 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	平成18年度に再評価を実施し、結果は以下のとおり 対応方針:継続 個別付帯意見:なし			
(事業概要図)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  <p>当該箇所</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準横断</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>全体延長 L=2,000m</p> </div> </div>			
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651	
		E-MAIL	douro @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 51	
事業種別	道路事業	事業主体	青森県	
事業名	緊急道路建設事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	碓ヶ関大鱈(停)線 早瀬野～島田 大鱈町	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国 55% 県 45% 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	一般県道碓ヶ関大鱈(停)線は、平川市碓ヶ関地内の一般国道7号を起点とし、大鱈町内のJR奥羽本線大鱈温泉駅に至る道路であり、大鱈・碓ヶ関温泉郷の相互アクセスを担う観光道路であるとともに一般国道7号を補完する代替路線としての役割を担っている。 当該区間は、集落間を結ぶ道路であるが、幅員が狭小で歩道も未整備であり交通安全確保に支障をきたしていたことから、バイパス整備を実施したものである。			
主な事業内容 (事業量)	全体延長 L=1,500m 幅員 W=5.5(10.5)m			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) バイパス整備による走行時間短縮 (その他の効果) 走行快適性の向上 歩行者の安全確保			
事業の実施経過	(事業着手) H7	(用地着手) H7	(工事着手) H7	(事業完了) H18
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(16年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H7 ~ H19	H7 ~ H19	H7 ~ H18	
総事業費	1,474 百万円	1,474 百万円	1,474 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	平成16年度に再評価を実施し、結果は以下のとおり 対応方針:継続 個別付帯意見:なし			
(事業概要図)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  <p>当該箇所</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準横断面図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  <p>全体延長 L=1,500m</p> </div> </div>			
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651	
		E-MAIL	douro @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 64	
事業種別	砂防事業	事業主体	青森県	
事業名	通常砂防事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	南泊沢 (六ヶ所村)	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国 50% 県 50% 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	南泊沢は、六ヶ所村の北部に位置し、太平洋に注ぐ流域面積A = 0.21km ² の土石流危険渓流である。当流域は溪岸浸食や山腹崩壊により河床に不安定土砂が堆積しており、今後の集中豪雨等により土石流が発生する恐れがある。被害想定範囲内には、保全対象として、人家156戸、災害時要援護者施設である泊診療所、泊保育所、村の指定する避難場所である泊公民館、県の第1次緊急輸送路でもある国道338号等を抱えており、これらを土砂災害から保護するために事業を実施するものである。			
主な事業内容 (事業量)	砂防施設 砂防えん堤 2基			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 人家・事業所・公共施設等への直接被害防止 人命保護 (その他の効果) 避難場所の被災による機能不全及び2次災害の防止 第1次緊急輸送路(国道338号)の交通途絶による避難救助及び緊急物資輸送の遅延防止 住民の長期避難による精神的苦痛の軽減			
事業の実施経過	(事業着手) 平成14年度 (用地着手) 平成15年度 (工事着手) 平成16年度 (事業完了) 平成18年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) (当初計画時)	再評価時(年)	事後評価時(年) (最終実績)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H14 ~ H19	~	H14 ~ H18	
総事業費	150 百万円	百万円	223 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	【増減理由】各砂防えん堤について地形測量を実施し、設置位置、規模等詳細検討を行った結果、えん堤の規模が増大したことによる増額:当初(150百万円) 実績(223百万円)			
(事業概要図)				
担当部課室名	河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9670	
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

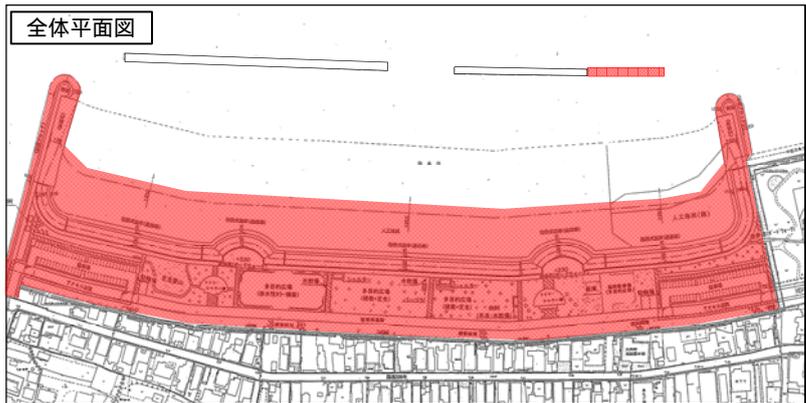
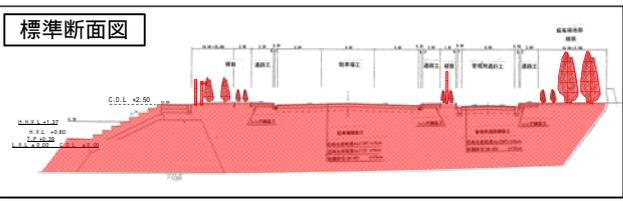
1 事業概要		整理番号	H22 - 75	
事業種別	砂防事業	事業主体	青森県	
事業名	急傾斜地崩壊対策事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	天神林3号区域 (七戸町)	事業方法	● 国庫補助 ○ 県単独	
		財源・負担区分	●国 45% ●県 45% ●市町村 10% ○その他 %	
事業の背景・必要性	天神林3号区域は七戸町の中央に位置し、保全対象に人家11戸の他、県道七戸十和田湖線(第2次緊急輸送道路)、町道川向天神林線を含む急傾斜地である。 斜面のいたるところで小崩落が発生し、豪雨時の崩壊が懸念されることから、急傾斜地の崩壊から住民の生命・財産を保護するため、事業を実施するものである。			
主な事業内容 (事業量)	施工延長L=216.8m プレキャスト法砕工 L=49.8m、A=1,009㎡ 現場打吹付法砕工 L=48.4m、A= 993㎡ 連続繊維補強土工 L=119.0m、A=3,186㎡			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 ①人家・事業所・公益施設等への直接被害防止 ②人命保護 《その他の効果》 ①交通途絶による迂回損失の防止 ②第2次緊急輸送路(県道七戸十和田湖線)の交通途絶による避難救助及び緊急物資輸送の遅延防止 ③住民の長期避難による精神的苦痛の軽減			
事業の実施経過	《事業着手》平成15年度 《用地着手》平成15年度 《工事着手》平成15年度 《事業完了》平成18年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H15 ~ H19	~	H15 ~ H18	
総事業費	150 百万円	百万円	219 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	【増減理由】対象斜面の測量・調査を実施し、対策工について検討を行った結果、現地に適した工法へ見直したことによる増額:当初(150百万円)→実績(219百万円)			
《事業概要図》				
<p>The map section includes four sub-diagrams: 1. 位置図 (Location Map) showing the project area within Aomori Prefecture. 2. 全体平面図 (Overall Plan View) showing the project area along the town road, with labels for 'H3~H6(既設)', '町道川向天神林線', and '県道七戸十和田湖線'. It also indicates construction methods: 'プレキャスト法砕工' (Precast concrete method), '連続繊維補強土工' (Continuous fiber reinforcement), and '現場打吹付法砕工' (On-site cast-in-place method). A red arrow indicates the total length of 216.8m. 3. 標準横断面図 (Standard Cross-section Diagram) showing a cross-section of the slope with '連続繊維補強土工' and '現場打吹付法砕工'. 4. 全景写真 (Overall Photo) showing the actual site with red boxes highlighting the project area.</p>				
担当部課室名	河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9670	
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 88	
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県	
事業名	八戸港港湾環境整備事業 緑地(沼館)	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	河原木地区 (八戸市)	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国 41 % 県 59 % 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	港湾施設の老朽化及び機能移転等により、活況が薄れ遊休地が生じたことから、八戸市の再開発計画と併せて、ウォーターフロントの活用による、市民が集い憩える賑わいのある複合空間の創出を図る。			
主な事業内容 (事業量)	緑地A=24,300m ² 通路工A=8,200m ² 、芝生・植樹工A=7,100m ² 、休憩所・ベンチ工N=9基、トイレN=1棟、遊具N=1基			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>交流・レクリエーション機会の増加</p> <p>(その他の効果)</p> <p>周辺の優れたロケーションを活かし展望性に優れた観光拠点が形成される。</p>			
事業の実施経過	(事業着手) 平成8年度	(用地着手)	(工事着手) 平成9年度	(事業完了) 平成18年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(H17年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ~ H16	H8 ~ H19	H8 ~ H18	
総事業費	1,250 百万円	1,516 百万円	1,410 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・H17再評価:長期継続10年 ・附帯意見:なし ・対応方針:継続 			
(事業概要図)				
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>位置図</p>  <p>八戸港</p>  </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>				

担当部課室名	港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677
		E - MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 93		
事業種別	海岸事業	事業主体	青森県		
事業名	川内港海岸環境整備事業	管理主体	青森県		
箇所名等 (市町村名)	川内地区 (むつ市)	事業方法	国庫補助 県単独		
		財源・負担区分	国 33 %	県 67 %	市町村 % 其他 %
事業の背景・必要性	川内港の海岸は、護岸の整備により砂浜が失われた状態となっている。このため、人工ビーチを整備し豊かで潤いのある快適な水辺空間、砂浜の復活を図る。				
主な事業内容 (事業量)	護岸L=620m、突堤N=2基、人工海浜V=76,800m ³ 、遊歩道N=1式				
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 海水浴場の整備による海岸利用の向上効果 (その他の効果) 本事業は平成9年度に運輸・文部両省による「いきいき・海の子・浜づくり」の指定を受け、青少年の野外教育、環境教育等の活動の場に利用されている。				
事業の実施経過	(事業着手) 平成4年度	(用地着手)	(工事着手) 平成5年度	(事業完了) 平成18年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) (当初計画時)	再評価時(H10年)	再評価時(H15年)	事後評価時(年) (最終実績)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H4 ~ H17	H4 ~ H17	H4 ~ H17	H4 ~ H18	
総事業費	2,349 百万円	2,383 百万円	2,909 百万円	2,916 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~	
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円	
特記事項	・H15再評価:再評価後5年 ・附帯意見:なし ・対応方針:継続				
(事業概要図)					
 <p>位置図</p>		 <p>全体平面図</p>			
		 <p>標準断面図</p>			

担当部課室名	港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9577
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 96・97		
事業種別	街路事業		事業主体	青森県	
事業名	3・3・3号 下白銀町福村線道路改築事業		管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	和徳～松ヶ枝 (弘前市)		事業方法	国庫補助 県単独	
事業の背景・必要性	都市計画道路3・3・3号下白銀町福村線は、弘前市中心部と東部方面の黒石市を結ぶ幹線道路であり、市街地でJR奥羽本線と立体交差(地下道)している。沿線には小学校・団地等があり通勤・通学路として利用されているが、立体交差部では幅員が狭く慢性的に渋滞しており、通行には非常に危険な状況にあった。また、現道は歩道が狭いため自転車・歩行者の通行に支障をきたしていた。このため、交通の円滑化と自転車・歩行者の安全を確保するため平成2年度に事業着手に至ったものである。				
主な事業内容 (事業量)	施工延長 L = 765 m 幅員 W = 13.0(22.0)m				
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) バイパス整備による交通の円滑化 (その他の効果) 自転車・歩行者の安全確保				
事業の実施経過	(事業着手) H2年度		(用地着手) H3年度	(工事着手) H9年度	(事業完了) H18年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(H11年)	再評価時(H16年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H2 ~ H11	H2 ~ H16	H2 ~ H17	H2 ~ H18	
総事業費	5,768 百万円	7,380 百万円	11,960 百万円	11,826 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H11年)	第2回計画変更(H16年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H2 ~ H16	H2 ~ H18	~	~	
総事業費	10,520 百万円	11,887 百万円	百万円	百万円	
特記事項	事業費の増加 ・補償費の増:当初(1,302百万円) 実績(3,332百万円) ・JR横断部(本体・仮設)の見直しによる増:当初(1,862百万円) 実績(4,400百万円) 用地難航。地下埋設物(下水道本管)の移設のための協議・調整に不測の日数を要した。				
(事業概要図)					
全体計画平面図 			事業箇所位置図 		
			標準横断面図 		

担当部課室名	都市計画課	電話番号	017 - 734 - 9682
		E-MAIL	toshikei@pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 98	
事業種別	街路事業	事業主体	青森県	
事業名	3・4・4号 観音林脇雑吉沢線道路改築事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	種川～雑吉沢 (野辺地町)	事業方法	● 国庫補助 ● 県単独	
		財源・負担区分	● 国 約36% ● 県 約 49% ● 市町村 15% ○その他 %	
事業の背景・必要性	都市計画道路3・4・4号観音林脇雑吉沢線は、野辺地町の中心市街地と国道279号及び水喰野辺地線を接続する幹線道路である。現道は、幅員が狭く歩道も設置されていないことから、自動車交通に支障を来しているとともに、自転車歩行者も危険な状況にある。このため、交通の円滑化と自転車・歩行者の安全を確保するために平成8年度に事業着手に至ったものである。			
主な事業内容 (事業量)	施工延長 L=612m 幅員 W=6.0(16.0)m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 ①バイパス整備による交通の円滑化 《その他の効果》 ①自転車・歩行者の安全確保			
事業の実施経過	《事業着手》H8年度 《用地着手》H9年度 《工事着手》H12年度 《事業完了》H18年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕	再評価時(H17年)	事後評価時(年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ～ H13	H8 ～ H19	H8 ～ H18	
総事業費	650 百万円	1,250 百万円	1,099 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H13年)	第2回計画変更(H15年)	第3回計画変更(H17年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H8 ～ H15	H8 ～ H17	H8 ～ H18	～
総事業費	1,130 百万円	1,250 百万円	1,164 百万円	百万円
特記事項	■事業費の増加 ・用地費の増:当初(71百万円)→実績(211百万円) ・補償費の増:当初(284百万円)→実績(386百万円) ・擁壁工の増:当初(0)→実績(75百万円) ■用地難航により不測の日数を要した。			
全体計画平面図		事業箇所位置図		
		標準横断面図		

担当部課室名	都市計画課	電話番号	017 - 734 - 9682
		E-MAIL	toshikei@pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 99	
事業種別	国道改築事業	事業主体	青森県	
事業名	国道279号道路改築事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	野辺地バイパス (野辺地町)	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国55% 県45% 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	野辺地バイパスは、下北半島の中心都市であるむつ市と東北縦貫自動車道八戸線を結ぶ地域高規格道路。下北半島縦貫道路の一部を形成し、国道279号の混雑緩和や救急医療ネットワークの向上を図るとともに、国家エネルギー施策の重要プロジェクトであるむつ小川原開発地域を支援するものであり、また、半島という地理的条件に起因する距離的・時間的遠隔性を解消し、地域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与するものである。			
主な事業内容 (事業量)	・事業延長 L = 6,860m(自動車専用道路)、橋梁5基 ・幅員 W = 7.0m(全幅12.0m(完成時23.5m)) ・車線 2車線(完成時4車線)			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) バイパス整備による交通混雑の緩和 (その他の効果) 救急医療ネットワークの向上(地域医療の支援) 安全性の確保(冬期交通、ドライバーが抱える心身ストレスの緩和、代替性の確保) 交流圏の拡大 国家プロジェクトの支援			
事業の実施経過	(事業着手) H7	(用地着手) H8	(工事着手) H9	(事業完了) H18
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H7年) [当初計画時]	再評価時(H16年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H7 ~ H17	H7 ~ H17	H7 ~ H18	
総事業費	15,000 百万円	15,325 百万円	15,905 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H17年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H7 ~ H18	~	~	~
総事業費	16,000 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	・増額の理由:野辺地ハーフICの追加及び救急車退出路の施工 ・H17年度 本線全線供用、H18年度 救急車退出路施工			
(事業概要図)				
担当部課室名	高規格道路・津軽ダム対策課	電話番号	017 - 734 - 9711	
		E-MAIL	kokikaku @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H22 - 100	
事業種別	公営住宅整備事業	事業主体	青森県	
事業名	公営住宅整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	県営住宅多賀台団地 (八戸市)	事業方法	国庫補助 県単独	
		財源・負担区分	国 50% 県 50% 市町村 % その他 %	
事業の背景・必要性	<p>県営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としている。</p> <p>昭和41年から44年にかけて建設された多賀台団地は、老朽化が進行し、規模が狭小なもの、浴室等設備の不備なものが多いことから、建替事業によって入居者の安全性や居住性の向上を図る必要があった。</p>			
主な事業内容 (事業量)	<p>【既存住宅解体】 CB造平家建て～64戸、CB造2F建て～70戸</p> <p>【既存集会所解体】 木造平家建て～1棟</p> <p>【県営住宅建替え】 木造、平家建て、2F建て：1LDK～12戸、2LDK～33戸、3LDK～55戸</p> <p>【集会場建替え】 木造平家建て～1棟</p> <p>【外構工事】 広場、通路等1式</p>			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>空家の解消</p> <p>(その他の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの形成 ・建物の安全性確保と居住水準の向上 ・地域景観の向上 			
事業の実施経過	(事業着手) 平成15年度 (用地着手)		(工事着手) 平成15年度 (事業完了) 平成18年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) [当初計画時]	再評価時(年)	事後評価時(年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H15 ～ H18	～	H15 ～ H18	
総事業費	2,442 百万円	百万円	1,418 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H16年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H15 ～ H18	～	～	～
総事業費	1,418 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>将来の世帯数需要予測から県営住宅の供給目標戸数等を定めた「青森県県営住宅ストック総合活用計画」(平成13年3月策定)において、平成16年度に見直しを行ったところ、多賀台団地については当初計画の145戸から100戸に変更した。</p> <p>また、供給戸数が減少したことに伴い、外構工事についても(内容及び工事範囲を)大幅に縮小したことから、計画事業費、2,442(百万円)に対して実績事業費は、1,418(百万円)となり、約42%減少した。</p>			
(事業概要図)				
<p>The figure includes a location map of the Takagai area in Hachinohe City, Aomori Prefecture. Below it is a detailed site plan titled '県営住宅(多賀台団地)建替事業計画(変更)' (Public Housing (Takagai Area) Renovation Project Plan (Change)). The plan shows the layout of buildings, parking areas, and other facilities. A floor plan of a 2LDK unit is also shown, labeled '多賀台団地平面図(2LDK-南入口)'.</p>				
担当部課室名	県土整備部 建築住宅課		電話番号	017 - 734 - 9694
			E-MAIL	kenju @pref.aomori.lg.jp